

平成 29 年 4 月 5 日

各 位

会 社 名 ア ス ク ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 田 彰 一 郎
(コード番号:2678 東証一部)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 財 務 ・ 広 報 室 本 部
執 行 役 員 本 部 長 兼 C F O
玉 井 継 尋
T E L 03-4330-5130

ASKUL Logi PARK 首都圏（弊社物流センター）火災に伴う特別損失の計上
および、業績予想・配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 16 日に ASKUL Logi PARK 首都圏（物流センター、所在地：埼玉県入間郡三芳町上富 1163）において火災が発生した旨をお知らせしておりますが、今般、平成 29 年 5 月期第 3 四半期累計期間（平成 28 年 5 月 21 日～平成 29 年 2 月 20 日）において、当該火災による損害額（一部概算計上）を特別損失として計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 5 月期第 3 四半期累計期間における特別損失の計上および最新の業績動向を踏まえ、平成 28 年 7 月 5 日に公表いたしました業績予想および配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

本火災による損害額は現時点において確定出来ておりませんが、平成 29 年 5 月期第 3 四半期累計期間において、現時点の見込みに基づく損害額を特別損失として 10,145 百万円計上いたしました。詳細は以下のとおりです。

(単位：百万円)

内容	特別損失計上額
資産の原状回復費等の引当金繰入額	6,819
固定資産やたな卸資産の滅失損	3,286
その他関連費用	39
合計	10,145

(注) 1 上記特別損失計上額は現時点の見込みに基づく概算額であり、今後変動する可能性があります。

2 平成 29 年 5 月期第 3 四半期末において保険金の受取額は確定しておらず、かつ見込むことも困難なため、保険金の受取額は特別利益に計上しておりません。

参考までに保険の種類とその対象支払限度額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

保険の種類	保険の対象	保険の支払限度額
火災保険	建物及び構築物、設備什器等一式	2,500
運送保険	製造、販売する商品、製品等一式	2,111

2. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

平成 29 年 5 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 5 月 21 日～平成 29 年 5 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	348,000	9,500	9,500	5,500	105.98
今回修正予想 (B) (注)	335,000	8,000	8,000	—	—
増減額 (B - A)	△13,000	△1,500	△1,500	—	—
増減率 (%)	△3.7%	△15.8%	△15.8%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 5 月期)	315,024	8,517	8,574	5,255	100.50

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益および 1 株当たり当期純利益は、保険金の受取額等が未定であり、火災による損失額が現時点においては確定できないため、未定とさせていただきます。

(2) 修正の理由

平成 29 年 2 月 16 日に発生しました当社物流センター「ASKUL Logi PARK 首都圏」の火災事故の影響を受け、当社は平成 29 年 4 月 5 日開催の取締役会において、平成 28 年 7 月 5 日に公表しました平成 29 年 5 月期通期（自 平成 28 年 5 月 21 日 至 平成 29 年 5 月 20 日）の連結業績予想を以下の通り修正することといたしました。

連結売上高については、e コマース事業において以下の通り見込んでおります。

BtoC 事業の「LOHACO」は、東日本エリアの出荷物流センターである「ASKUL Logi PARK 首都圏」の火災の影響により、100 億円の減少を見込んでおります。また、BtoB 事業については、火災事故の影響は限定的であるものの火災発生後に物流の混乱等が生じたこと等により、期首予想から 30 億円の減少を見込んでおります。

火災事故の影響により、お客様へご迷惑、ご不便をお掛けしておりますが、これを早期に解消するため、各物流センターの出荷対象エリアの見直しや 24 時間稼働等による既存物流センターの最大限の活用、また、「ASKUL Logi PARK 首都圏」の代替センターの賃借等により「LOHACO」の出荷量最大化に努めてまいります。一日も早く、火災事故前の出荷能力を確保するとともに、さらなる成長を目指してまいります。本来の生産性まで回復するための期間については、追加の費用を見込んでおり、連結営業利益および連結経常利益については前回予想から 15 億円下回る 80 億円としております。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益および 1 株当たり当期純利益は、保険金の受取額等が未定であり、火災による損失額が現時点においては確定できないため、未定とさせていただきます。

3. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成28年7月5日)		18円	36円
今回修正予想 (平成29年4月5日)		未定	未定
当期実績 (平成29年5月期)	18円		
前期実績 (平成28年5月期)	15円	18円	33円

(2) 修正の理由

当社の利益配分に関しましては、健全なキャッシュ・フローと安定した財務体質を維持しつつ「中長期的な企業価値向上のための設備投資資金としての内部留保の確保」と「株主のご要望にお応えするための株主還元としての配当政策」をバランスさせながら、総合的に判断して実施していく方針を採っております。

前述した通り、「2.業績予想の修正について」において、平成29年5月期連結業績予想のうち、親会社株主に帰属する当期純利益および1株当たり当期純利益について未定としておりますことから、平成29年5月期の期末配当予想についても未定とさせていただきます。

今後、平成29年5月期連結業績の見通しが判明し、平成29年5月期の期末配当予想が確定次第、速やかにお知らせいたします。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の予想数値は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業務は、今後さまざまな要因によって業績予想値とは異なる結果となる可能性がございます。

以 上